



# 今後の公共施設の 在り方は

馬淵 紀明議員

各種検討会等の意見を基に検討を重ねる  
総務部長

	施設		インフラ			
	施設数	延床面積 (㎡)	道路延長 (m)	橋りょう数	上水道延長 (m)	下水道延長 (m)
愛西市	129	220,617	993,448	576	220,399	357,719
津島市	120	237,876	477,694	460	417,532	99,181
あま市	139	264,124	596,970	435	292,797	128,259
弥富市	108	151,605	566,413	594	-	186,617

近隣市を含めた公共施設等の状況 令和6年2月現在の公共施設等総合管理計画より引用

## ▲近隣市を含めた公共施設等の状況

本計画で目標としている公共建築物の30%削減を達成した場合の更新費用で計算すると、一人当たり約9万2千円となる。将来、大幅な人口減が

計画策定からおおよそ30年後の2045年の推計人口が、国立社会保障・人口問題研究所が示している最新の推計結果の4万5341人で割り返すと、一人当たり約10万3200円となり大幅な負担の増加となる。

- 令和6年度当初予算
- 枯れ草指導の状況は

### その他の質問

により健全な行財政運営に努めていく。

**問** 本市には、公共施設やインフラ施設の今後の管理計画を示す公共施設等総合管理計画があるが、この計画では、30年間で公共施設等の約30%削減を目標としている。現状のまますべての公共施設等を維持した場合、その維持管理等にいくらの必要と算出しているのか。

**答** 市が保有する公共建築物及びインフラ施設の更新費用に加え、新規整備等を見込んだ維持管理費用は、40年間の総額で、約2157億9千万円、一年当たりで約53億9千万円必要と推計している。

**問** 今後、市の人口が減少した場合、市民一人当たりが負担する施設管理コストはどのくらいになるのか。

**答** 本計画策定時の平成27年国勢調査時の人口6万3088人で割り返すと、一人当たり約7万4200円。

**問** 計画の中では、予防保全により長寿命化を行うこととなっている。この場合、いくらと算出し、その削減効果は。

**答** 40年間の更新費用で、約1871億1千万円、一年当たりで約46億8千万円となる。

**問** 今後、公共施設の在り方について市はどのように考えているのか。

**答** 各種検討会等の意見を基に検討を重ねながら公共施設等総合管理計画に基づき長期的な視点に立って、公共施設の長寿命化、計画的な維持管理、民間活力の導入などにより健全な行財政運営に努めていく。